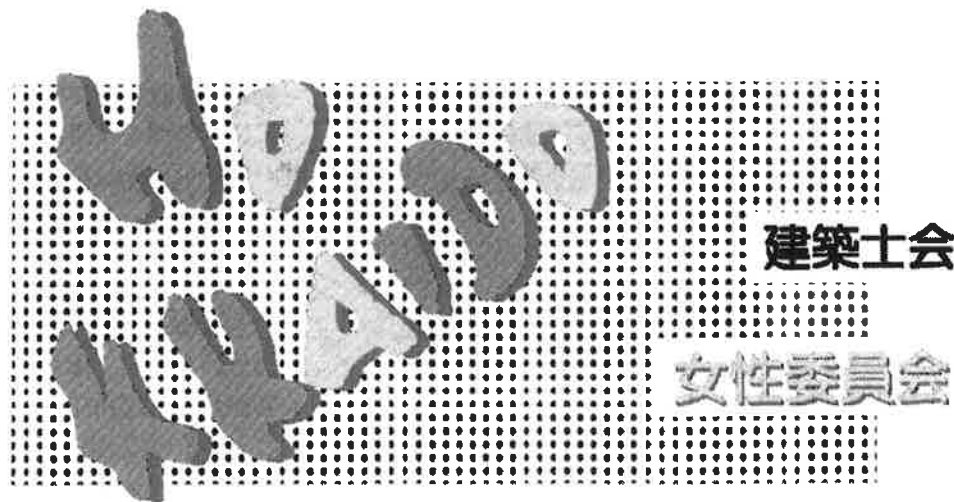


No. 44



「ニッポンの建築素材」に関わって

道央A（札幌支部） 山本 明恵

私が連合会女性委員であった2005年、全国女性建築士連絡協議会（全建女）が香川県で開催され「地域で使われている身近な素材」についてのアンケートが実施されたことがきっかけでした。香川大会のパネルディスカッションで、「木」「漆喰」「瓦」「竹炭」など、地域の素材とその活用について話し合われたことに、参加者から自分達の地域の素材に関心が高まりました。

2007年の青森大会では、「素材のゆくえ」として、全国各地の素材や使用事例が集められ、建物の所在地や建築年代、設計者、施工者など、より具体的な情報を調査した写真展示が行われました。その後、連合会委員や参加者の中から、これだけで終わらすのはもったいない、との意見があり、なんとか、広く一般の人や建築関係者、学生などに、興味を持ってもらいたい、そのためには出版物として発行できないかの要望が強くなり議論され、具体的に検討に入りました。全建女は第6回岐阜大会（1995年）から、テーマ別の分科会が活発になり、「人にやさしい住まい」「自然環境との共生」など、人、暮らし、住まいを考える基本的な視点を大切にした分科会が年々増えていきました。「健康住宅素材」「シックハウス素材」について、身近な問題として地域での取り組みや研究発表などで、自然素材や地産地消に興味を持ち、住まい造りに生かそうとする動きがありました。第13回東京大会（2002年）から大テーマを「地域と共生する住環境づくり」とし昨年の長野

大会「地域と共生する住環境づくり」一貫として、地域、共生、住環境にこだわっていることがわかります。

なぜ今、素材なのか・・・

現在の住まいには多くの工業生産品が使用され、無味乾燥的な住環境となりつつあります。本来、日本の文化には、古来からのすばらしい素材がたくさんありました。地域の気候風土に合ったそれらの素材をもう一度生かす方法はないのだろうか、そんな思いが「ニッポンの建築素材」につながりました。人をやさしくする住まいづくりと、五感を呼び戻す居心地の良い暮らし、それを実現できるのは、建築士がまず素材を知ることだと思います。

北海道には豊かな木材や軟石、珪藻土、レンガなどがあります。自然素材には施工性や維持管理、価格などの問題もあり、どれだけユーザーに納得して選んでもらえるのか、次世代へつなぐためにはどうしたらよいか、建築士として知識の研鑽が必要になると思います。

「地域と共生する住環境づくり」まさにこのテーマこそ人にやさしい住まいづくりになると感じています。

ニッポンの
建築素材
守り伝えたい
身近な素材
（社）日本建築士会連合会 編



建物素材も「地産地消」！
身近な素材がこんなにも。
全国の女性建築士が
総力を挙げて調査。

新委員紹介

道央A（札幌支部） 種田 若菜

私は4年前まで長野県佐久市にて設計事務所を開設しておりました。縁あり札幌に移転したと同時に札幌支部に移籍させていただき、このたび女性委員会に所属させていただきました。長野県では特に自然素材、県産材にこだわった住宅造りを志して仕事をしておりました。これから人でも物でも新しい出会いを楽しみながら今まで志してきたことに深みをもたせられればと思っております。

道央B（滝川支部） 神部 絢子

当ブロックはこの数年新規入会の会員が全くなく、すっかり錆付いた私が任につくことになりました。少々荷が重いというのが正直なところですが、ブロックの構成メンバーの結束は固く、この大きな支えのあることが心強く、任につくことを決心いたしました。委員長を初めみなさまのご指導をいただきながら、努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

道南B（室蘭支部） 吉田 幸恵

今年度より道南Bの代表として参加させて頂くことになりました。士会に入会してから早8年が経とうとしています。ずっと幽霊部員状態でしたが、委員会に出るようになって、全道各地の女性建築士の皆さんの活躍を知ることが出来、『自分も頑張ろう、色々な事を勉強させてもらおう』と思っています。沢山の新しい出会いに胸を膨らませ、頑張っています。どうぞ、よろしくお願ひします。

道北（旭川支部） 齊藤 裕美

（株）橋本川島コーポレーション住宅事業部に勤務しています。建築士になって（建築士に合格して？）7年目になります。卒業した学校やその後の就職先もデザイン関係で、少し遠回りをして現在に至っています。昨年結婚し只今実家を二世帯にリフォーム中。自分で設計した住まいに今からドキドキです。どうぞよろしくお願ひいたします。

道北（旭川支部） 小池かおる

旭川の小池です。（2006～2007年にかけて）3回程、小池かおるのサハリン日記と言うものを書かせていただきました。今年もひょっとすると、K隊長と旅にでるかもしれません。「ア〜ッ」と驚き、「ど〜しよう」と言う事がきつと起こるはずです。期待して下さい。虚弱体質(?)な私ですが、女性委員会のお仕事頑張ります。よろしくお願ひします。

道東A（道東支部） 金子ゆかり

気温も景気も冷え切っている釧路からの参加で

す。代表は2回目です。前は、まだ若く可愛く(?)大人しく…何もわからなかった記憶があります。勤務する設計事務所での業務や建築士会の事業そして、まちづくり団体での過酷な経験が私を逞しくオバサンにしました。不況に負けずに頑張る道東Aの元気を発信しますので宜しくお願ひします。

道東B（斜里支部） 川勝美由紀

健康法が気になる年代で、動きが鈍くなったと感じる今頃。出来ることは先延ばししないよう！心がけていますが、体と頭が反抗してスローペースになりがち。委員会では、ひとつの物も視点が違えば色々みえるので、皆さんと語り合い刺激をうけながら、楽しく参加していきたいと思っています。宜しくお願ひします。

道央Aブロックだより 札幌の雑貨と家具のお店ガイドブック

道央A（札幌支部） 新海 直美

2010年2月、北海道新聞社より「さっぽろ 雑貨とインテリアのお店」という本を発行しました。

札幌市内の雑貨や家具のお店、全68軒を掲載したガイドブックです。

これまで、札幌でもグルメやレジャーのガイドブックは多くありましたが、インテリアのお店のガイドブックは見かけませんでした。住まうことを考えた時、ハードである建物が作られた後、ソフトの部分を補うのが家具や雑貨です。生活に密接な関わりを持っているのに、どこに行けば良いのか分からない。という状況がこれまでであったように思います。

私自身、友人やお客様から、「こんなものが売っているお店を知らない?」と聞かれることも多くあり、たくさんあるお店を知ることができれば、もっと自分らしい住まいを作ってゆくことができるのではないだろうか?という思いから企画しました。

家具や雑貨をお探しのお施主さんがいらっしゃいましたら、薦めて頂けると嬉しいです。特に、奥さまに好評頂いておりますので、話のネタにも是非!



著者：新海直美

出版社：北海道新聞社

価格：1,260円（税込）